



校長室だより（25） H30.6.29.金

熊商の日々の教育活動 ～ 志高く、恕と信頼の人づくり ～

熊本県立熊本商業高等学校 校長 郷 慶次

◆ 総体、総文祭、商業競技会終了 次のステージへ進もう！

6月初旬の各種県大会では生徒の皆さんの活躍する姿を目にすることができました。また、えがおスタジアムでの高校総体の開会式には生徒全員が参加できたことも嬉しく思っているところです。今年の高校総体も開会式後の熊本工業高校の校歌斉唱とエールに続き、熊本商業高校の第二応援歌斉唱があり、両校の元気の良い歌声がスタジアム全体に響いたということ当日の役員の先生から褒めていただきました。

県大会で見事優勝したソフトボール部と珠算部、総体と南九州大会を勝ち抜いた陸上部をはじめ、多くの生徒が見事全国大会に出場することになりました。熊本県代表としてしっかり頑張ってきて欲しいと思います。全ての部活動が次の大会では目標とする結果が残せるように、個々の力を高め、熊商のチームとして一体となって伸びて欲しいと願っています。

◆ 6月は「心のきずなを深める」月間

心に響く言葉があります。

- ・全校生徒が笑顔で過ごせるように！
- ・倅せになる言葉を貯金しよう
- ・陰口ダメ、ゼツタイ
- ・周りが笑顔になる言葉を使う

これらは全生徒が考えた宣言文の中の数点で、いつも目にする1階と2階の間の踊り場に掲示してある言葉です。生徒人権委員会が活動の一環として行った行動宣言文が書道部の生徒の手により印象的な手書きの文字となりました。

言葉には訴える力があり、一日に何度か階段を通り、この言葉を見る度にふと我に返っています。同時に熊商の生徒たちは笑顔で過ごしているだろうか、倅せになる言葉を貯めているだろうかとも考えます。

クラスや部活動など学校での集団生活を送る中で、考えて行動できているか、協調して過ごすことができているかなど、東側と西側のそれぞれの階段を通る度に、ほんの数秒でもいいので、今の自分、今日の自分を見つめて欲しいと思っています。

◆ 3年生の進路を考える取組み

6月15日（金）の午後、「卒業生を囲む会及び進学ガイダンス」が開催されました。卒業生を囲む会では事務系、製造系、サービス系、公務員の4つの分科会に分かれ、2年前に熊商を卒業した先輩との意見交換を行いました。一人暮らしについて、職場での化粧についてなど、先輩だからこそ尋ねられる質問も出ていたようです。進学ガイダンスには県内の大学、専門学校13校にお願いして商学、経営学、看護学、作業療法など各学校の専門分野について丁寧な説明をしていただきました。

3年生にとって進路について考える半日でしたが、次は目標を定め、目標を実現するために行動に移す段階となってきました。

◆ 第31回熊商デパート始動！

6月28日（木）の午後、「熊商デパート協賛企業打ち合わせ会」を開催しました。月末のお忙しい中にも関わらず、県内企業34社の方々にお出でいただき、実行委員長の木庭先生から今年度の熊デパのコンセプト「平成最後の熊商デパート」や重点項目等の説明の後、クラスごとに担任、店長の紹介や生徒研修等について打ち合わせを行いました。12月1日（土）、2日（日）開催の熊デパが動き始めました。協賛企業の皆様には御協力いただきありがとうございます。

